

産業技術記念館って、（外も中も）なかなか凄い！！

産業技術記念館に行ってきました。中日新聞に連載され、本としてまとめられた「建築の歌を聴く 中部の名作42選 若山滋著」において、産業技術記念館を紹介する文章の冒頭にこうあります。

『「名古屋に行って、見るべきものは何か」と聞かれたとき、私はこの記念館を勧めている。友人には技術屋が多いので、たいていの場合満足してもらえる。』



名古屋駅から程近い場所ですが、時代を重ねた工場の煉瓦壁・ノコギリ屋根の存在感、博物館としての展示内容共に、工場建築のリノベーションの大傑作とってよいと思います。産業技術記念館として1994年に開館されましたが、1996年には名古屋市の都市景観重要建築物に指定されているのも、うなずけます。

工場の大空間を活用した自動織機及び自動車製造関連の展示空間にも圧倒されます。（色々な実演付きで面白いですよ♪）



この大空間の中に、建物内建物として、2つの大きな宝があります。旧(株)豊田自動織機製作所自動車部の「材料試験室」と「試作工場」です。

前者は、自動車製造に燃えていた豊田喜一郎が、当時の帝国大学とほぼ同等の最新研究機器を備えた建物で、自動車生産草創期の数少ない産業遺産として、この地に移築され、当時の姿で再建されている。

後者は、トヨタ初の試作車が造られたものを当時の柱・梁・小屋組みなどの木造部分を移築し、再建されているものです。



ともに、名古屋市の認定地域建造物資産41号、42号に認定されており、正に名古屋の宝の中に宝が埋まっている感じです。展示内容についても、やさしく・詳しくガイドしてもらえます。



併設されたレストラン「ブリックエイジ」でのランチも、贅沢な空間で、素敵なサービスを受けられ、充実感たっぷりです。是非、この地域の産業の源を肌で感じてみてください。

(T. Y. (*^_^*))